

# 昨年度活動成果と今年度活動目標

2008年5月16日  
モデリング技術部会  
主査 山城 明宏

特定非営利活動法人 UMLモデリング推進協議会

1

## 部会目標と構成メンバー

部会の目標 モデリング技術の調査・研究、モデリング技術の体系化やモデリングのスキル標準などを策定する。

主査	山城 明宏	東芝ソリューション
副主査	藤井 拓 (～2007主査)	オージス総研/大阪大学
	羽生田 栄一	豆蔵
	竹政 昭利	オージス総研
	河合 昭男	オブジェクトデザイン研究所
	照井 康真	テクノロジック・アート
	水戸 和幸	日本ユニシス
	中原 俊政	バブ日立ソフト

## 2008年度活動予定

**活動目標** 業界に対し、モデリング技術に関する取り組みの気運を盛り上げつつ、モデリング技術部会の当初の設立目的に沿った活動に取り組む。

### 活動目標

1. 年4回のワークショップを行い、各回の発表内容とともに議論を、UMTPのウェブページから公開する。
2. 蓄積される4回分の資料や議論を踏まえて、「モデリング技術の調査・研究、モデリング技術の体系化やモデリングのスキル標準などを策定する」活動を押し進める。

### 実行上の課題

1. 会場手配に部会メンバ企業のご協力をお願いする。
2. 実施結果のwebページ掲載に関し、広報部会のご協力をお願いする。
3. 講師費用の支払い等に関し、事務局のご協力をお願いする。

## 2008年度活動費用見積もり

モデリングワークショップの実施とその後の議論のwebページ掲載において、講師 謝礼及び掲載文面のとりまとめに費用投入する。

費目	予算	昨年度実績	差額
講師謝礼	50千円 * 4回	0	200千円
掲載文面 とりまとめ	100千円 * 4回	0	400千円

## 2008年度活動マイルストーン

テーマ	1Q	2Q	3Q	4Q
部会	モデリングワークショップの合間に開催 (4～5回/年)			
成果報告		経過報告		中間報告
イベント	モデリング ワーク ショップ#1	モデリング ワーク ショップ#2	モデリング ワーク ショップ#3	モデリング ワーク ショップ#4

(活動期間2年を想定)